

作品研究) 青い蝶を美容と美術で表現 (Expressing blue butterflies with beauty and art)

過足千明¹⁾

抄録

山野美容芸術短期大学における授業「美容芸術演習」の一環で、学生とともに作品研究を行った。本作品は、オーストラリアにおいて幸せの象徴であると言われている青い蝶（ユリシス）をイメージし、ミニウィッグや台座、アクセサリーなどを用いて、表現したものである。イメージカラーである〈青〉を髪色、肌色の濃淡やパール、薔薇などに用いた点が特徴である。

キーワード：美容芸術演習、青い蝶、かご編み、ヘアアレンジ、メイク

I. はじめに

富田知子教授の授業「美容芸術演習」に参加し、2020年後期、全15回の授業内で作品を制作した。2021年12月には、八王子都市学園ギャラリーにて、学生の作品とともに展示を行った。学生として在学中に「美容芸術演習」の授業はなく、このようにミニウィッグを制作する機会はなかったため、作品制作を行う授業に興味を湧いた。また、すでに作品制作をしていた教員の作品を拝見し、創作意欲が高まっていた。

〈蝶〉は綺麗で華やかさをイメージした。蝶の作品は過去にはなかったため、新規性を持たせた。また、漫画『パラダイスキス』のモチーフとなっている蝶やオーストラリアにおいて幸せの象徴であると言われている青い蝶（ユリシス）からイメージを展開し、色味もロイヤルブルーに行き着いた。

II. 作品紹介

ミニウィッグを原型とし、何も施されていない状態から制作を開始した。

手順は次の通りである。①ヘアカラーを施す→②肌の色を作成→③メイク→④ヘアアレンジ→⑤アクセサリー制作、装飾→⑥台紙を作成→⑦最終調整

①ヘアカラーを施す際、カラーマニキュアを使用。ブルー系の色味を混ぜ合わせながらグラデーションになるようにした。日本のサントリーフラワーズとオーストラリアの植物工学企業である Calgene Pacific との共同研究開発により、世界で初めて青色の色素を持った薔薇が2004年に発表されている。綺麗で華やかな印象を持つブルーの色味を参考にした。

②肌はアクリル絵の具を使用し、筆で塗装した。ベースをシルバーにした理由は、ヘアカラーに施したロイヤルブルーの色味を目立たせるためである。

③メイクは眉毛とまつ毛をブラウンにすることにより、柔らかさを表現した。グリーンベースの目の色は、アクリル絵の具を使用して制作。グリーン、白、黒の絵の具を混ぜ合わせることで、よりリアルな目を表現した。リップとチークは青みピンクにし、色味の統一感を出し、華やかさを表現した。リップはマニキュア、チークはヘアチョークを使用し、コットンで色味をつけ、柔らかさを表現した。

④ヘアアレンジは蝶の羽をイメージし、かご編みを取り入れた。前髪だけでなく、バックにもデザインを入れることで、蝶の羽が羽ばたく様子を表現した。

⑤ヘアアクセサリーは既製品を使用せず、蝶と薔薇はプラ板から自身で制作した。青い薔薇の飾りは、白色の薔薇を購入し、ブルーのマジックペンを使用してロイヤルブルーへと塗装して制作した。また、白色のバラを残すことで青の色味をさらに際立たせた。

⑥台紙はヘアチョークを使用し、あえてぼんやりとした色味にすることで柔らかさを出した。これは主役のウィッグを際立たせるためである。

⑦最終調整として華やかさや統一感を出すため、ウィッグの肩の部分にエアブラシを使用し、ロイヤルブルーの色味をグラデーションに施した。また、頭頂に載せた黒のヴェールも、蝶の羽の模様をイメージした。縫い合わせ、動きが出るよう蝶の羽をイメージして制作している。最後にコテを使用し、毛先にカールをつくり、華やかさをプラスした。また、ラメのスプレーをヘアアクセサリーや作品の中に取り入れることで、可憐で綺麗なイメージとなるよう制作を行った。

参考文献

- 1) 矢沢あい 「Paradise kiss パラダイスキス」 Feel コミックス 1-5 巻 祥伝社 1999-2003
- 2) 小林康夫 「青の美術史」 平凡社 2003
- 3) 富田知子他 「美容と美術の共同プログラム」 山野研究紀要 24号・25号 pp17-24 2016-2017

1) YOGIASHI Chiaki

山野美容芸術短期大学

連絡先:〒192-0396 東京都八王子市鎌水 530

ユリシス～青い蝶～

255×220×220 (mm)

BEAUTY & ART 展 出品 2021年12月13日・14日開催 (八王子都市学園ギャラリー等)



提出日：2022/9/5